

平成29年度第1回東北農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:平成29年7月24日)

開催日及び場所		平成29年6月20日(火) 仙台合同庁舎A棟7階東北農政局会議室		
委員		大泉 裕一(公認会計士・税理士) 杉山 茂雅(弁護士) 宮坂 一平(ジャーナリスト) 村上 敏郎(弁護士)		
審議対象期間		平成29年1月1日～平成29年3月31日		
審議対象案件		336件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		7件 うち、1者応札案件 0件 (抽出率2.1%) (抽出率0.0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件内訳	工事	一般競争	3件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	測量・建設コンサルタント等業務	一般競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	公募型プロポーザル
		簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		標準型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		その他の随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		物品役務等	一般競争	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	随意契約(企画競争・公募)		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項) なし。			
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)
			別紙のとおり。	別紙のとおり。

委員会による意見の具申又は勧告の内容[これらに対し部局長が講じた措置]

なし。

事務局： 東北農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

別 紙

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答等
<p>< 工事編 ></p>	
<p>(会津南部農業水利事業 大川幹線用水路(その1)工事)</p> <p>契約日から変更日が近いが、どういう理由か。また、入札公告日、道路協議が整ったのはいつか。道路協議が整ってから入札公告を行った方が、変更契約を行わなくても良かったのではないか。</p>	<p>入札公告は、1月24日で、道路協議が整ったのが、2月24日である。この協議が整ってから入札手続きを開始したのでは、十分な工期を確保できないため、道路協議に係る区間は当初契約の対象から外し、協議が整った時点で変更追加を行った。</p>
<p>すべての協議が整った時点で入札公告を行えば、当然金額も増え、より多くの業者が参加し、プラスの面も多いと思うが。</p>	<p>一般的な話として、ロットが大きくなれば発注金額も大きくなり、参加業者も増えると思う。</p>
<p>この契約は年度内に発注しなければならないということなのか。</p>	<p>財政法を根拠として財務省と協議し、翌年度も工事を行う翌債工事であるため、契約時期が年度末になったものである。</p>
<p>相当前からわかっていたことで、計画段階から道路協議等調整していれば、変更しなくて良かったのではないか。</p>	<p>当初予算であれば、計画的に準備できるが、この契約は補正予算である。 H28年度の途中で措置された予算であるため、H29年度予定していた工事を前倒しして、大急ぎで協議等準備したもので、契約がこの時期になった。 補正予算が成立したのが10月11日であるため、そこから準備した経緯がある。</p>
<p>(村山北部国営施設機能保全事業 丹生川幹線用水路小水力発電所整備(その3)工事)</p>	

<p>これも補正予算で対応したものか。</p>	<p>本件についても、補正予算が措置された後、短い期間で発注手続きを行ったものである。</p>
<p>(仙台東特定災害復旧事業 八丁堀他復旧工事)</p> <p>杭の本数とか太さ等を変更する必要があったという説明だったが、工事に入る前の調査段階でわかっていたことではないのか。</p>	<p>通常設計段階で、各層のボーリング調査等を行い本数とか太さを決める。 着工の段階で、施工業者から現在の工法では、確実に支持層へ到達させることは困難であるとの指摘を受け、安全性を考慮し変更したものである。</p>
<p>設計段階の調査が甘かったということか。</p>	<p>設計段階で、細部までの調査を行えば精度は上がるが、調査費が高額になる。 今回の場合は、変更で対応した。</p>
<p>金額的に大きいのは、油圧配管工か。</p>	<p>金額で大きいのは、ウェルポイント工法による排水である。 実際、掘削し始めたら地下水が浸入し、現場条件が変わったため変更を行った。</p>
<p><測量・建設コンサルタント等業務編></p>	
<p>(和賀中央農業水利事業 上堰幹線用水路尻平川サイホン他機能 診断調査業務)</p>	
<p>変更理由の酸欠防止の換気設備及び泥の除去は、最初から予想できたのではないか。</p>	<p>当初は、水を抜くことでサイホン内の換気ができるものと考えていた。2箇所あるうちの下堰のサイホンは、空気の流れがあり変更していないが、上堰のサイホンは空気の流れが悪く、酸欠防止のため換気設備を追加した。</p>
<p>サイホン内の水を抜くと、ヘドロの堆積とか、距離が長ければ喚起設備が必要になることは、事前にわかるのではないか。</p>	<p>サイホンは、泥等を溜めないように口径を小さくして、流速を上げるような設計をしている。水を抜いても泥等は堆積していないという考えである。</p>

	<p>しかし、泥等の堆積はある程度予測できるため、当初から一定数量の堆積を見込んで発注するという方法もあったが、今回は実績で変更追加した。</p>
<p>(会津南部農業水利事業 馬越頭首工設計等業務)</p> <p>頭首工の設計業務は、特別な技術力が必要なのか。</p>	<p>普通は河川を締め切って施工するが、今回の場合、用水路に水を流しながら施工するという特殊な工事であり、その検討には高度な技術を要する。</p>
<p>< 物品・役務編 ></p>	
<p>(東北農政局福島市庁舎構内電話設備更新業務)</p> <p>こんなに落札率が低くて、大丈夫なのか。</p>	<p>本業務の仕様に基づいており、問題はなかった。</p>
<p>納入後のメンテナンスはどうしているのか。電話設備はわからないが、機器だと納入メーカーでなければ、メンテナンスができないと聞いたことがあるが。</p>	<p>保守契約を別途締結している。 納入業者に限らず、多くの業者に参加してもらえるよう仕様をオープンにすることで、競争性の確保に配慮した保守契約を行っている。</p>
<p>いつも話題に出ることだが、実際メンテナンスをしている業者は、機種が限定されているため、導入業者が多いと聞く。</p>	<p>そのとおりである。 椅子の修理であっても、その椅子を取り扱っている業者でなければ、参加が難しい。 同様に、既存品の部品交換となると、参加業者は限られてくる。</p>
<p>予定価格というのは実勢価格ではないのか。定価か。</p>	<p>参考見積を提出いただいて、最も低い価格を基に予定価格を積算している。 物価資料に掲載されていればその価格を予定価格として採用するが、電話交換機や椅子の修理は物価資料に価格が掲載されていないため、参考見積を採用し、予定価格を積算している。</p>

<p>(事務用回転椅子修繕業務)</p> <p>椅子の修理だが、修理した方が交換するより安いとか、総合的に判断しているのか。</p>	<p>破損の度合いで判断している。</p> <p>現物を確認しながら、補修で対応できる場合は、補修で対応している。</p> <p>椅子の機能が著しく低下している場合は交換する。</p>
<p>(その他)</p>	
<p>年度末という特殊な事情もあると思うが、応札者が少ない契約がある。</p> <p>このことについて、どう考えるのか。</p>	<p>受注機会の拡大を図るため、掲示場への掲示のほか、東北農政局ホームページ等への入札公告の掲示により、発注見通し情報や入札公告等情報の発信に努めている。</p> <p>また、関係団体を通じて、業者に入札情報の周知等を行い、受注拡大のための取組を行っている。</p> <p>H28年度当初予算については、景気浮揚という効果もあるため、上半期に8割以上の契約率を目指し、実際に目標を達成した。</p> <p>H29年度当初予算においても同様の取組を行っている。</p> <p>協議・調整が必要な残り2割の工事や、急に措置された補正予算等は、どうしても年度末の発注になってしまう。</p> <p>今後とも、早期発注に向けて、鋭意努力していきたい。</p>
<p>先ほども話した電話交換機だが、あまりにも落札率が低いと、参加希望業者が敬遠して、競争に参加できない状況が生まれているのではないかと。</p>	<p>通常取引されている価格を参考聴取して積算しており、問題ないと判断したものである。</p> <p>なお、会計法令により低入札価格調査の基準は、請負契約で予定価格が1千万円を超えるものとされており、本件では基準に満たなかったため調査を行わなかった。今回のご指摘を踏まえ、本省での会議において低入札調査基準の引き下げについて意見を申し述べることにしたい。</p>